

JACIC news

2023

12月号/No.414

JACIC 一般財団法人日本建設情報総合センター

ニュースと解説

「JACICセミナー」を開催しました

■はじめに

JACIC news No.412（2023年10月号）でご案内しました「JACICセミナー」をTKP赤坂カンファレンスセンターにおいて11月8日に開催いたしました。本年度は2年ぶりに会場とWebでのハイブリッドセミナー開催となり、300名を超える方が参加されました。

本稿では当日の様子についてご紹介します。



山田理事長挨拶

■第1部 建設情報研究所研究発表会

第1部では、「建設情報研究所研究発表会」と題して、JACIC内の各部署における取組みなどについて、最近の動向も交えてご紹介しました。



野田理事

《 第1部の内容 》

- 『どうする建設DX』
理事 野田 勝
- 『JACICルームの機能と利用事例』
ソリューション部門 計画監理部 西内 翔太郎
- 『JACICルームを活用したダム事業監理について』
ソリューション部門 事業推進部 黒滝 まど佳
- 『発注者BIM/CIM研修について』
BIM/CIM普及・推進室 岡田 直規
- 『研究助成について』
研究開発部 山本 莉子
- 『電子入札コアシステムにおける最近の取組み』

システムエンジニアリング部 遠藤 卓也

- 『JACIC土木積算基準データの提供について』
積算システムセンター 磯田 聖太
- 『コリンズ・テクリス機器更新（リプレース）と機能改良』
コリンズ・テクリスセンター 河野 加歩
- 『副産物システムの最近の取り組みと新サービスの概要』
建設副産物情報センター 徳丸 柊生

■第2部 特別講演

国土交通省における、i-Construction・BIM/CIMの最新の取組、将来に向けての展望について、ご講演いただきました。

《 第2部の内容 》

- 『国土交通省におけるインフラ分野のDX』
国土交通省 大臣官房参事官
(イノベーション) 森下 博之



セミナー風景

ニュースと解説

■第3部 社会基盤情報標準化委員会成果報告会

社会基盤分野の情報の標準化の取組を「スマートインフラセンサモニタリングデータにおけるメタデータ標準化検討小委員会」と「BIM/CIMにおける情報エコシステム標準化検討小委員会」の2つの小委員会の委員長から成果のご報告をいただきました。

《 第3部の内容 》

- 『社会基盤情報標準化委員会について』
建設情報研究所 副所長 明野 和彦
- 『インフラ構造物におけるセンサデータおよびモニタリングメタデータの標準化に向けて』
株式会社パスコ 五十嵐 善一



- 『BIM/CIMの情報管理に関する国際標準ISO 19650普及に向けた提言』
一般社団法人building SMART Japan
山本 賢司



セミナー風景

■第4部 第20回研究助成事業成果報告会

JACICでは、建設情報分野における学術の振興を目的に、情報・システムを活用した調査研究を対象に助成事業を実施しております。当日は、本年度終了する研究7件の成果と、来年度までの研究1件の現在の状況について、研究者の皆様からご報告いただきました。また、質疑応答の時間では、参加者の皆様とも議論がなされました。

《 第4部の内容 》

- 『ドローン・機械学習・3次元構造解析・信頼性理論の融合による劣化RC橋梁の健全度の自動判定』
【2年間の研究】

早稲田大学理工学術院 創造理工学部
教授 秋山 充良



- 『3次元点群データの活用による斜面・法面管理の効率化・高度化』【中間報告】
大阪大学大学院工学研究科
特任研究員 笹井 晃太郎



- 『防災DXに向けた災害教訓のマルチレイヤー化に関する研究』【1年間の研究】
香川大学 地域強靱化研究センター
特命准教授 磯打 千雅子



ニュースと解説

- 『冠水センサと機械学習を用いた道路冠水予測システムの開発』【1年間の研究】
東京電機大学 総合研究所
教授 小林 亘



- 『3次元モデルとメタバースを活用したインフラメンテナンス技術に関する教育手法の構築』【1年間の研究】阿南工業高等専門学校 創造技術工学科 建設コース 講師 角野 拓真



- 『若年層の市民参加促進のためのインターネットを活用した意見提出喚起手法』【1年間の研究】
東京理科大学 土木工学科 教授 寺部 慎太郎



- 『点群データを活用した鋼製橋脚のFEMモデル自動構築および解析結果の検証』【中間報告】
名古屋工業大学大学院 工学研究科
助教 日高 菜緒



- 『下水処理施設における機械学習の利活用に関する予測手法の開発』【1年間の研究】
東京大学 未来ビジョン研究センター
特任講師 紀 佳淵



■おわりに

「JACICセミナー」の開催にあたっては、2年ぶりの会場とWebのハイブリッド開催としました。当日は、300名（会場100名、Web200名）を越す多数の皆様にご参加いただきましたこと、お礼申し上げます。

なお、当日の資料は、JACICホームページ (<https://www.jacic.or.jp>) にて公開しております。また、JACICNET会員の方につきましては、Web動画にて配信しております。「JACICセミナー」が、建設分野の生産性向上やインフラDXの推進について考える契機となるとともに、皆様の業務や研究の一助としてもご活用いただければ幸いです。

（経営企画部、建設情報研究所）

地方便利

近畿地方センターの活動

近畿地方センターでは、近畿2府4県に福井県と三重県の一部を加えた8府県を担当しています。JACICが提供している公共調達にかかわる各種システムの利用促進及びフォローアップを行っています。

今回は、2023年3月（JACICnews No.406号）以降の活動を報告します。

■京都国道事務所の防災訓練への参加

令和5年8月29日（火）京都国道事務所にて、大雨による通行止めの際、関係機関が迅速に対応することを目的に防災訓練が行われました。情報共有に際しJACICルームを活用していただきました。当日は、システムのサポートとして参加しましたが、トラブル等も無く終了することができました。



■BIM/CIM研修の開催

近畿インフラDX推進センターに於いて、発注者を対象としたBIM/CIM研修を実施しました。令和5年7月5日～8月30日の期間中延べ15日間、約90名が受講されました。今年度より、国総研DXデータセンターに接続し、BIM/CIM成果品の確認を行う講義を実施しました。

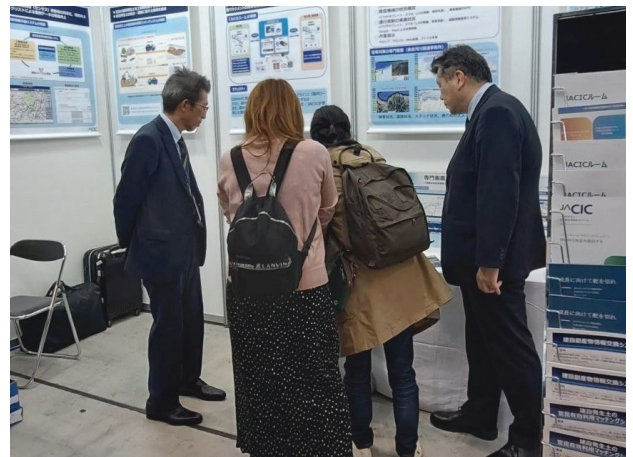


■建設技術展2023近畿への出展

令和5年11月1日、2日に開催された建設技術展2023近畿に出展しました。今年度は、昨年を上回る出展社数231者、ブース数276ブース、来場者数17,165名が来場されました。

JACICのブースでは、コリンズ・テクリスや建設副産物情報交換システム、電子入札コアシステムなどの紹介と、JACICルームを活用した新しい仕事の仕方を説明させていただきました。

今年度は、関西土木工学交流発表会のポスター発表も同会場で行われ、会場を訪れた学生にも熱心に説明を聞いていただきました。



■最後に

近畿地方センターでは、公共調達の基幹業務に加え、JACICルームを活用した、新しい分野にも取り組んでいます。お気軽にお声掛けください。

（近畿地方センター長 達家 養浩）

■編集・発行 一般財団法人日本建設情報総合センター

〒107-6114 東京都港区赤坂5丁目2番20号 赤坂パークビル14階
TEL. (03) 3505-2981(代表) FAX. (03) 3505-0414
ご意見・お問い合わせ先: <https://www.jacic.or.jp/about/syozai/syozai.html>
JACICホームページ <https://www.jacic.or.jp/>



編集・構成 日本印刷(株)
TEL. (03) 5911-8660